

ムラサキシジミ

「チョウ目・シジミチョウ科」
シジミチョウ科ミドリシジミ亜科にムラサキシジミ属という、東南アジアの熱帯を中心に多くの種が栄えているグループがあります。翅表が光沢のある青紫や緑で、裏面が枯葉のような褐色や灰色をしているのが特徴です◆日本では4種の記録があつて3種が定着しており、そのうち2種（ムラサキシジミ・ムラサキツバメ）が埼玉県内に生息しています。ムラサキシジミ



カシ類の葉で日光浴をするムラサキシジミ

は、このグループでは最も北東に棲息する種で、宮城県以南の日本列島、台湾、朝鮮半島の一部が分布圏です◆1970年代までは、関東地方では温暖な千葉県などで見られたものの埼玉県では大変珍しく、何年も記録がない時期もありました。それが1980年代に入ると県南部で徐々に増え始め、今世紀に入ってから秩父の山間部でも普通に見られます◆越生町でも食樹のカシ類（アラカシ、シラカシ等）があるところで見ることが出来ます。本種は、おこせ昆虫と自然の館通信⑨に登場したウラギンシジミとよく似たライフサイクルを持ち、成虫が年に3回程度出現し、秋に向かって数が増えていつて最後の世代が成虫のまま越冬します。あまり目立たない蝶であるうえに、夏の間は暗い樹林内で翅を閉じて静止していることが多く、目にする機会は少ないのですが、秋が深まった頃や越冬後の春先に、青紫の翅を開いて林縁の葉上などで日光浴をしている姿をしばしば見かけます。

(中村英夫)

おごせ アートミュージアム【梅園小学校】



1年 小椋 莉彩さん
『ちょうちょとあそんだよ』



6年 石田 実生さん
『ふたつの滝』



11月の納税 (12月1日まで)

固定資産税 第4期
国民健康保険税 第5期

バーコード印字のある納付書は、納期限内に限りコンビニエンスストアでの納付に使用できます。詳細は納付書をご覧ください。

人口と世帯 10月1日現在()は前月比

総人口	12,351人	(-16)
男性	6,157人	(-5)
女性	6,194人	(-11)
世帯数	4,959世帯	(-4)

お詫びと訂正

10月号18ページ『ラジオ体操始めませんか』の表において、上野東区の箇所に誤りがありました。正しくは、「場所：地域交流センター、日時：毎日午前6時30分、上野東区以外の方も参加可能、雨天時も実施」です。訂正し、ご迷惑をおかけしたみなさまに深くお詫び申し上げます。

